



子育ての不安や
悩みを解消する
お手伝いをします



あおもり **子育てネット**

令和4年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

※受賞当時の学校と学年です



いじめゼロ 標語だけでは終わらせない やさしさの たねをまいたら えがおさく

中泊町立中里中学校 2年 三上 愛

弘前市立岩木小学校 3年 平澤 莉緒



「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録され、これをきっかけに縄文時代の遺跡や出土品に興味を湧いてきた方も多いのではないのでしょうか。青森県内の遺跡数は4,839カ所あり、そのうち「縄文遺跡」は何と、**3,581カ所もあります**(令和5年4月現在)。ひよっとすると「縄文遺跡」は皆さんの家の近くにもあるかもしれません。

令和4年から実施している「地元の縄文」再発見プロジェクトは、身近なところに縄文人が住んでいたことや、縄文人が地元に遺したすばらしい遺物を分かりやすく、楽しくお伝えする企画です。

今年度も「地元の縄文」を再発見するフェアを県内2カ所で開催しますので、ぜひお越しください。

「地元の縄文」再発見フェア 9月:フェア in さんぱち! 11月:フェア in せいほく!

三八地域(フェアinさんぱち)

三戸町民体育館・三戸町中央公民館

9/16(土)~18(日)の3日間

16日/10:00~17:00 17日/9:00~17:00
18日/ 9:00~16:00

両フェアとも講演会・シンポジウムは日曜日の午後開催

西北地域(フェアinせいほく)

五所川原市中央公民館

11/11(土)~12(日)の2日間

11日/10:00~17:00 12日/9:00~17:00

② 体験学習会

地元から出土した本物の土器や石器に触ったり、アクセサリー作りやクイズなどを通じ、子どもから大人まで楽しみながら「縄文」を身近に感じることができます。



昨年度実施したフェアinしもきたの様子

③ 講演会・シンポジウム

地元研究者による講演と当センター職員による地元の縄文遺跡の解説後、「地元の縄文」について議論し、今後の活用の可能性を展望します。



昨年度実施したフェアinしもきたの様子

① 出土品展示会

地元から出土した縄文土器や土偶等の実物を展示し、写真パネル等も用いて分かりやすく解説します。露出展示を基本としますので、これまで「ガラス越し」だった縄文遺物を「直に」、「間近に」見ることができます。



昨年度実施したフェアinしもきたの様子

入場
無料
申込
不要

あおもり
縄文カード
プレゼント

これらのカードは
昨年制作したものです▶



※昨年度のフェアは北地域と中南地域で実施しました。来年度は上北地域と東青地域で実施する予定です。

ホームページ <https://www.ao-maibun.jp/>

問 青森県埋蔵文化財調査センター 調査第三グループ TEL.017-788-5701

みんなあつまれ! 三内丸山遺跡

令和5年度から7年度の予定で、地域の幅広い年代の方に参加いただき、世界遺産として認められた遺跡の価値を守り、伝える取組を行います。



三内丸山遺跡
公式SNSも
運用中!



twitter



Instagram



Facebook



Youtube

遺跡を守る

青森県内の小学生以上の方を対象として実施

三内丸山遺跡の「縄文」里山育成・継承

遺跡の植生について調査などを行い、クリの苗木を育成し、収穫などの体験を行います。

【テーマ及び実施日程】

(1) 遺跡にある植物を調べよう	① R5 8/27(日)	② R5 9/10(日)	③ R5 10/ 7(土)	半日 程度
(2) クリの木を育てよう	① R5 9/10(日)	② R5 10/ 7(土)	③ R5 11/12(日)	
(3) 石斧で木を伐採しよう	① R5 9/16(土)		④ R6 3/16(土)	



遺跡内の自然素材を活用したムラづくり体験

遺跡内の自然素材を利用し、竪穴建物の解体や組立などの体験を行います。

【実施日程】

(1) R5 8/11(金・祝)	(2) R5 8/20(日)	(3) R5 9/24(日)	半日 程度
(4) R5 10/22(日)	(5) R5 10/29(日)		

遺跡を伝える

青森県内の中学生・高校生・大学生を対象として実施

三内丸山遺跡の遺構・出土品をもとにした、PRグッズのデザインを募集します。選考の上、採択されたデザインはPRグッズとして製作し、遺跡を訪れた方にお配りします。

【募集期限】 令和5年9月29日(金) 必着

採択された方には
特典も!

それぞれの取組の詳細については、
順次ホームページに掲載予定です!

ぜひ
チェックして
ください!



問 三内丸山遺跡センター TEL.017-766-8282

「あおもり創造学」 全県立高等学校で 始まります!



あおもり創造学とは・・・

生徒一人一人の「ふるさとあおもり」への愛着や誇り、夢を抱き未来に向かって挑戦する意欲を醸成するために、地域資源や人財を活用して、高校の所在地及び自身の居住地等について理解を深める学習

令和5年度、全県立高等学校の生徒が、「総合的な探究の時間」や「課題研究」の時間等において、「あおもり創造学」に取り組みます。生徒は各校の大テーマのもとに、個々に課題を設定し、探究学習を行います。郷土に関する探究活動や、教科の枠を越えた協働的な体験を通して、本県への誇りと意欲的な学びの姿勢、情報発信する力などを育むことで、将来的な県内定着につなげ、持続可能な青森県を創造できる人財を育成していきます。

各校の学習成果は、**令和6年2月7日(水)の総合研究発表会**で発表する予定です。また、あおもり創造学公式ホームページや各校のホームページ等においても随時情報発信を行っています。児童・生徒の皆さん、また、教員・保護者をはじめとする県民の皆さん、**生徒の取組をぜひご覧ください!**

(★は令和4年度推進校)

★ 青森高等学校 あおもり創造学 Infinelligence Research Program	★ 青森西高等学校 青森西あおもり創造学 青森セレクトプロジェクト ～観光資源研究と成果の還元～	★ 青森東高等学校 あおもり創造学 青東高バージョン [E-pro地域探究]	青森北高等学校 青森県立青森北高等学校 あおもり創造学 KITAプロジェクト ～地域の課題解決に向けて～	★ 青森南高等学校 あおもり創造学 南高のバトン	青森中央高等学校 あおもり創造学 あすなろ学! [あおもり探究]	浪岡高等学校 あおもり創造学 空き缶でつながる、浪高と地域と循環型社会	青森工業高等学校 あおもり創造学 地元の特色ある産業に気づく機会を創出する
青森商業高等学校 あおもり創造学 青商生プロデュース! 地域活性化プロジェクト	北斗高等学校(定時制) あおもり創造学 北斗「空に描こうあなたの夢(みらい)を」 (校歌の歌詞より)	青森工業高等学校(定時制) あおもり創造学 青森だよ、全員集合! ～後継者不足の実態を掌握、後継者を目指そう!～	北斗高等学校(通信制) あおもり創造学 あなたにできる地域貢献	★ 弘前高等学校 あおもり創造学 弘前高バージョン ～地域に根差したアイデンティティの形成～	★ 弘前中央高等学校 あおもり創造学 [Sakura Time]	弘前南高等学校 あおもり創造学 南陵タイム「あおもり創造学」 ～身近なところからあおもりを考える～	黒石高等学校 あおもり創造学 黒石の魅力の種を育てる ～地域探究から見つめる黒石市～
★ 柏木農業高等学校 あおもり創造学 柏農あおもり創造学 ～地域農業振興と郷土愛の醸成をめざして～	弘前工業高等学校 あおもり創造学 地域に愛される工業人を目指して	★ 弘前実業高等学校 あおもり創造学 各科の特色を活かした「地域課題の掘り起こしと解決法の提案」 (商・家・体のチャレンジ)	尾上総合高等学校(定時制) あおもり創造学 地域の魅力再発見 ～地域とともに目指す自己実現～	弘前工業高等学校(定時制) あおもり創造学 弘前もの作り探究	尾上総合高等学校(通信制) あおもり創造学 [O ₂ プロジェクト] (オーソープロジェクト)	★ 八戸高等学校 あおもり創造学 八戸発見学 ～地元の「強み」を見てみよう～	八戸東高等学校 あおもり創造学 はちのへ創造学 ～地元のこれからのを考える
★ 八戸北高等学校 あおもり創造学 [あおもり創造学] in 八北 ～きざしはから見る八戸の未来～	八戸西高等学校 あおもり創造学 八戸西から始まる地域課題解決ソリューション	★ 三戸高等学校 あおもり創造学 三戸みらい創生プロジェクト	★ 名久井農業高等学校 あおもり創造学 課題発見力の強化 ～広い視野と豊富な選択肢の支援～	★ 八戸工業高等学校 あおもり創造学 地元ファンづくりプロジェクト ～技術継承で地域社会をつくる～	八戸水産高等学校 あおもり創造学 海に学ぶ・海で学ぶ 八水マリンタイム ～海を知る 地域を知る 創造する!～	八戸商業高等学校 あおもり創造学 八商発! 郷土愛 ～地域と共に～	★ 八戸中央高等学校(定時制) あおもり創造学 地域連携と防災意識の向上
八戸工業高等学校(定時制) あおもり創造学 ～地域を知る、発信する、持続可能な地域づくりのために～	八戸中央高等学校(通信制) あおもり創造学 郷土についてより深く知る	★ 木造高等学校 あおもり創造学 木造(きづくり)・人づくり・地域づくり ～[MAP(Mokko Asumiru Project)]～	鯉ヶ沢高等学校 あおもり創造学 「鯉ヶ沢みらい探究」～髙生プロデュース 鯉ヶ沢町の課題解決への挑戦～	★ 五所川原高等学校 あおもり創造学 力行タイム [SD探究]	★ 五所川原農林高等学校 あおもり創造学 地域課題解決への挑戦 ～農業から考える地域課題～	★ 五所川原工科高等学校 あおもり創造学 [地域のSDGs] ～持続可能な地域を目指して～	五所川原高等学校(定時制) あおもり創造学 「郷土再発見」 五高(定)バージョン ～五所川原魅力再発見～
★ 野辺地高等学校 あおもり創造学 「野高コンパス」自分らしく考える(オリジナリティ)力の育成を目指して～地域の探究や防災の知識を生かした地域活性化に向けて～	★ 七戸高等学校 あおもり創造学 七戸を遊ぼう&楽しもう! ～ナナラボと創る新たな七戸町～	百石高等学校 あおもり創造学 総合的な探究の時間 [ステップアップタイム]/課題研究	★ 六ヶ所高等学校 あおもり創造学 ROHS(ロハス) [Rokkasho High School & Rokkasho Our Heritage Studies] 私たちの六ヶ所を受け継ぐプロジェクト2023	★ 三本木高等学校 あおもり創造学 三本木高校×地域研究×SDGs	★ 三沢高等学校 あおもり創造学 モスプロでみさわを輝かせよう	三本木農業恵拓高等学校 あおもり創造学 三農課題研究 +総合的な探究の時間	十和田工業高等学校 あおもり創造学 [県内企業の魅力発見] -地域への貢献意欲の醸成、県内企業への定着促進-
★ 三沢商業高等学校 あおもり創造学 三沢市周辺地区の魅力大発信! ～青森県の人口減少・少子化に歯止めをかけよう～	三沢高等学校(定時制) あおもり創造学 [あおもり創造学]三沢高(定時制)	★ 田名部高等学校 あおもり創造学 [探究理解] ～あおもり創造学～	大湊高等学校 あおもり創造学 下北HEROES ～地域で働くヒーローを探せ～	★ 大間高等学校 あおもり創造学 下北の底カラ発見隊 ～北通り3町村編～	むつ工業高等学校 あおもり創造学 ジオパークって何だ? ～下北ジオパークからはじめる地域理解～	田名部高等学校(定時制) あおもり創造学 まさかりの魅力を発見 ～下北を持続可能な社会に～	あおもり創造学 ホームページ QRコード

あおもり創造学ホームページ

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-gakyo/aomorizougaku.html>

問 学校教育課高等学校指導グループ TEL. 017-734-9883

期日 令和5年10月25日(水)

会場 新青森県総合運動公園マエダアリーナ

★本検定・発表会はどなたでも見学できます! 高等部生徒が真剣にチャレンジする様子をご覧ください、応援をお願いします。★

授業で身に付けた技能を評価します 職業技能部門

生徒が思いや願いを表現します コミュニケーション部門



清掃分野

ビルメンテナンス等を想定した清掃技能を基礎コースと応用コースに分けて検定します。



接客サービス分野

飲食店を想定した接客における、一連の工程を検定します。



パフォーマンス
発表分野

歌、ダンス、器楽演奏、学習活動紹介などのパフォーマンスで自分の考えや学習成果を発表します。



プレゼンテーション・
ポスター発表分野

プレゼンテーション・ソフトウェアやポスターにより「夢」「志」「挑戦していること」など、学校教育活動に関連することを発表します。



PC入力分野

PC入力による基礎的な文書作成を検定します。(※各校にて事前実施)

今年度
新設!

「農業分野」

本検定・発表会の充実と、農福連携の更なる推進を図ります。

ミニトマトとジャガイモの選果、計量等の技能を検定します。

各部門のほか、各校の特色を紹介する
展示ブースやデモンストレーションも行います!

本検定・発表会の開催案内・当日の様子及び各分野の指導マニュアル・評価票は、大会事務局校(県立青森第一高等養護学校)のホームページに順次掲載されます。

大会事務局校ホームページ▶▶▶



◆本検定・発表会は「特別支援学校就職サポート隊あおもり」(※)のサポーター企業等のご理解とご協力の下、平成27年度のプレ大会を含め、今年度で8回目の開催となります。

※「特別支援学校就職サポート隊あおもり」

県教育委員会では、障害のある生徒の働く力の育成や就職促進のための体制整備等を目指し、職場見学や就業体験等に協力していただける企業を登録しています(令和5年5月現在344社が登録)。多くの企業の登録をお待ちしております。

「特別支援学校就職サポート隊あおもり」登録方法▶▶▶



問 学校教育課 特別支援教育推進室 TEL. 017-734-9882

大学入学時奨学生・高等学校等予約奨学生募集のお知らせ

大学入学時奨学生募集

～大学入学時に必要となる経費に充てるための奨学金です～

- 対象 以下の①から④すべてに該当する高校生、高等専門学校生等
 - ①保護者が青森県の住民
 - ②令和6年4月に大学(通信制・短期大学を除く)の第1学年に入学見込
 - ③生活保護受給世帯もしくは市町村民税所得割非課税世帯又は児童養護施設等入所者
 - ④大学出願用調査書の評定平均値がおおむね4.0以上(児童養護施設等入所者等は3.5以上)
- 貸与額 10万円を単位とし、60万円以内の必要な額
- 申込期間

	募集期間	採用者数	採用予定時期
第1次募集	令和5年 7月18日～令和5年 8月14日	50人程度	9月
第2次募集	令和5年 8月15日～令和5年10月10日	30人程度	11月
第3次募集	令和5年10月11日～令和5年12月22日	20人程度	1月
- 申込方法 県内の各高等学校等にある「大学入学時奨学金申込書」と添付書類を、在学する学校が指定する日までに同校へ提出してください。
- 貸与時期 大学の合格発表後(令和5年9月から令和6年3月までの間)
- 返還 大学卒業又は退学した月の翌月から起算して1年経過後8年以内に全額返還(無利子)。
- 返還免除要件 (次の要件を満たす場合、願い出により奨学金の返還が免除されます。)
 - 大学卒業後1年以内に青森県内に居住及び就業(公務員を除く)し、引き続き3年を経過すること。

★詳しくは、7月に学校から配布される
募集要項をご覧ください。

大学入学時奨学生に
ついてはこちら▶▶▶



高等学校等予約奨学生募集

通学費、資格試験、
部活動費に!

～高校進学前に奨学金を予約する制度です～

- 申込資格 保護者が青森県の住民で、令和6年4月に高等学校等へ進学を希望する中学3年生
- 募集人員 約500人
- 貸与月額 次のうち、必要に応じて希望する金額
ア:18,000円 イ:23,000円
ウ:30,000円 エ:35,000円
- 返還 無利子で、貸与終了後1年据置、貸与期間の3倍の期間内に全額返還(3年間貸与を受けた場合は9年間で返還)。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。
- 申込方法 県内の各中学校にある「予約申込書」と添付書類を、在学する学校が指定する日までに同校へ提出してください。
※各中学校から公益財団法人青森県育英奨学会への締切は9月11日(月)です。

★詳しくは、7月に学校から配布される
募集要項をご覧ください。



高等学校等予約奨学生に
ついてはこちら▶▶▶



問 青森県育英奨学会(教職員課内) TEL. 017-734-9820

私たち、こんな活動しています! ~小学校のICT機器活用~

青森県内の
小学校では...

約4分の1の小学校でほぼ毎日パソコン・タブレットなどのICT機器が活用されており、「週3回以上」を含めると約2分の1の小学校で積極的に活用されています(令和4年度全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙(R4.4)文部科学省調査)。

小学校でのICT機器活用について、むつ市立第三田名部小学校の久保真一郎先生にお話を伺いました!



お話を伺った久保先生

—久保先生は、ICT機器を活用した授業をされてきたと伺いました。
—前任校のむつ市立大畑小学校では、高学年の担任をしており、調べたことをまとめる時や、国語、算数、道徳等の授業、学級活動でも活用しました。
—どのような使い方をされていたのでしょうか。
—国語では文章の作成や修正、算数では授業の振り返り等に活用しました。道徳では、「AIテキストマイニング」の機能を使い、授業前後の子どもの考えの変化を視覚化することに取り組みました。(右側参照)
—様々な場面で活用されていたんですね。子どもたちは、どのような様子でしたか?
—子どもたちは、意欲的に取り組んでいました。文章の推敲(すいこう)や、授業の振り返りを見返して、自分自身の成長・変化を実感するといったことを短い時間の中で行うことができましたし、話し合いや考える時間も増やすことができました。

また、学級活動の係活動では、タブレット端末で作成したアンケートを学級内で実施し、結果をグラフで示しながら提案を行った子どもたちもいて、ICT機器を自主的に、そして効果的に活用する様子も見られました。

—ICT機器の活用は、子どもたちばかりでなく、先生方にとっても新しい試みです。活用に当たって、心がけていることはありますか?

—私も色々な使い方を勉強していますが、得た知識や情報を活用するにあたり、「手間が増えるだけではないか?」「効果的な授業となるか?」と考えるようにしています。

また、よい活用方法があれば、教員同士で情報を共有していくことが大事だと思っています。まずは教員がICT機器の活用方法をよく知ることで、より多くの子どもたちに効果的な学習方法を提供できると思います。

—今までの方法をICT機器に置き換えるだけではなく、新たな効果が生まれることを意識されているんですね。

—そうですね。ICT機器を使うことを目的とするのではなく、学力向上につなげたいという思いで色々試行錯誤しています。

今年度第三田名部小学校に赴任しましたが、前任校での経験も生かし、先生方と協力しながら、ICT機器の活用に取り組んでいきたいと思っています。

★★久保先生、ありがとうございました!★★



授業での活用の様子

「ほんとうの自由」について考えた道徳の授業では、こんな風にICT機器を活用しました

授業のねらい

みんなが規律を守ることによってそれぞれの「自由」が保障されることに気づき、責任ある行動をとろうとする心情を育てる

授業の流れ

①「自由」について全員の意見を共有(授業前の考え)

AIテキストマイニングを活用して集計

②教材を使って、「自由」について考え、話し合う

③「自由」に対する自分の考えをタブレットに書き、共有(授業後の考え)

AIテキストマイニングを活用して集計

④先生からのお話

学校生活に関するアンケートでは、皆が「学校生活が楽しい」と答えていました。それは、今皆さんが考えたことを普段から行っているからですね。



「AIテキストマイニング」を活用して意見を集計すると、入力された意見の中で、多かったものは大きい文字、少ないものは小さな文字で表示されやすくなっています。そのように集計された授業前後の意見を比べることで、「自由」に対する考えがどう変化したかを視覚的に捉えることができました。

おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。(県教育庁教育政策課 情報広報グループ広報担当 TEL 017-734-9868)

青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会
読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。
●日時/ 8月12日(土) 14:00~14:30 9月 9日(土) 14:00~14:30
10月14日(土) 14:00~14:30
●場所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

◆おしえて先生!知るしるる探検隊
科学の実験やいろいろな仕事の人との交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。
●日時/7月22日(土) 14:00~14:30 8月26日(土) 14:00~14:30
9月23日(土) 14:00~14:30
●場所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

◆特別展「あおもりのえほん」(7月1日~10月9日)開催中!!
馬場のぼるの「11びきのねこ」シリーズをはじめとして、作家、漫画家、芸術家など、様々な分野で活躍する青森県出身の人たちが作成した「あおもりのえほん」を、たくさん紹介します!!
アニメ「11びきのねこ」の上映会や、絵本のおはなし会、絵本の編集者の講演会など、イベントもたくさん用意しています。
ぜひ来てくださいね!!
展示を見るのも、イベントに参加するのも、すべて無料!!
詳細はホームページでご確認ください。

問 青森県近代文学館(青森県立図書館2階) TEL.017-739-2575
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/bungakukan/>

種差少年自然の家からのお知らせ

◆親子の絆「防災キャンプ」
親子でキャンプ(避難所体験)をしながら災害時に役立つ知識や技能を習得し、防災力の向上を図ります。
●期 日/9月23日(土)~24日(日)
●対 象/小・中学生とその家族、防災教育に関心のある方
●募集人員/親子10組30名
●内 容/防災レク、防災講話、炊き出し体験、AED講習など
●募集期間/8月23日(水)~25日(金)

問 種差少年自然の家 TEL.0178-38-2131
<http://www.tanesashi.jp>

あおもりから世界へ!

目指せ、世界のトップアスリート! 「あおもりスポーツアカデミー事業」 令和6年度生募集中!

国民スポーツ大会等の全国大会やオリンピック等の世界大会で活躍が期待できる、将来有望なジュニアアスリートを発掘するため、選考会(運動能力測定会)を実施します。



(選考会の様子)

選考された児童は、次年度以降、スポーツ医・科学に関する講義やトップレベルコーチ等を講師とするトレーニング・競技体験など、トップアスリートを目指す上で必要となる知識・能力等を育成するプログラムに参加します。

「将来オリンピック選手になりたい!」「新しい競技に挑戦してみたい!」そんな小学生の皆さん、あおもりスポーツアカデミーで自分の可能性にチャレンジしてみませんか?

●対 象/県内在住の小学校4年生と6年生の児童で、令和5年度の新体力テストにおいて総合A判定の者

●参 加 料/無料
●測定項目/①身長・体重 ②長座体前屈 ③メディシンボール前投げ ④立ち幅跳び ⑤立ち三段跳び ⑥反復横跳び ⑦20m走 ⑧10mシャトルラン

●日時・場所/①9月16日(土)・17日(日) 青森県武道館 ②9月23日(土)・24日(日) マエダアリーナ ③9月30日(土)・10月1日(日) 八戸市体育館

●申込期間/7月1日(土)~31日(月)

●申込方法/青森県スポーツ科学センターホームページ又は右記の二次元コードからお申し込みください。

※詳細・申込方法等については、各学校から配付されるリーフレットをご覧ください。

問 青森県競技力向上対策本部(事務局:スポーツ健康課) TEL.017-734-9159
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-sports/kyougyiryoku-kouzyou.html>

青森県立郷土館からのお知らせ

◆青森県立郷土館サテライト展
日本の近代銅版画の先駆者・今純三の生誕130年を記念してその画業を振り返り、彼の描いた戦前の風景や暮らしを紹介いたします。
●期 間/令和5年9月30日(土)~令和6年1月28日(日)
●場 所/青森県立美術館
●入 場 料/一般510円、大学生・高校生300円、小・中学生100円

◆夏休みこどものくに
青森県の縄文時代の人々の暮らしについて解説し、ミニチュア土器・土偶作りの体験活動を行います。
●日 時/7月30日(日)10:00~11:30
●場 所/青森県総合社会教育センター 第5研修室
●講 師/青森県立郷土館 学芸主任 杉野森淳子
●対 象/小学生(25人) ●材 料 費/無料
●受付期間/7月11日(火)~7月21日(金)



◆青森県立郷土館土曜セミナー
郷土館職員が、郷土の歴史や文化、自然などをテーマにして楽しくわかりやすくお話しする講座です。どなたでも受講できます。なお、当セミナーは「あおもり県民力レッジ」の単位取得講座(1回2単位)です。
●日 時/7月15日(土)13:30~15:00
●場 所/青森県総合社会教育センター4階 第2多目的研修室
●講 師/青森県立郷土館 主任学芸主査 増田公寧
●テ マ/知っているようで知らない 青森のお盆行事
●参 加 費/無料 ●お申込み/当日13:00から(40人先着順)

問 青森県立郷土館 TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com/event/>

「夜間中学」ニーズ調査にご協力ください

夜間中学とは、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校等のためにほとんど学校に通えなかった人、また、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学ぶことのできる学校です。

この度、本県における夜間中学の設置に関する現状や課題等を把握するため、ニーズ調査を行います。ぜひ、皆様の声をお聞かせください。

●調査対象/青森県内在住の方 ●調査期間/令和5年7月~9月
●調査方法/ウェブアンケート等
※詳しくはホームページをご覧ください。

問 青森県教育庁教職員課 TEL.017-734-9894
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/pjnhs_2023.html